

.....編集後記.....

◇今月号の表紙とグラビアの一部には、本文に合わせて、珊瑚礁を取り上げました。冬の日本にいても南の海に思いを馳せるだけのグローバルな視点を持つと、というのが編集の趣旨であります。

◇浅い震源域に直接ボーリングして調査を試みるという塚原・池田両氏の記事と、海上保安庁水路部による海底地形の詳細な調査を紹介した桂氏の記事は、以前より特にお願いで執筆頂いたものです。ご寄稿に厚くお礼申し上げます。

◇IAGOD-90の報告は、IGC-92の準備過程の議論に役立てるため、早めに印刷に廻しました。

◇表紙とグラビアの写真が最近良くなったという評価を頂いております。印刷所が変わったのではなく、原稿を精選した結果です。現在の印刷技術では、35mmフィルムでも、原画さえ良ければここまで行くのですから、鮮明な原画（ポジ=スライド）を提出して下さい。例えば、9月号の表紙の写真は、エクタクロームASA100の35mmフィルムを使い、スカイライトフィルターを付けたニコンFEで撮影したものです。要するに、特別な機材を用いたわけではありません。

◇それにしても、本文中の写真の出来ばえの悪さは、何とかしなければならぬ改善課題です。特に、10月号の新設欄 PHOTO EYE の仕上りには、絶句してしまいました。本文の写真原稿はほとんどカラープリントなので、モノクロ写真程よい結果は期待できないとは言え、これは余りにひどく、対策を検討中です。

◇今月号には、初めての試みとして、総目次が付いています。図書館などで製本した場合に利用し易くするためですが、時間とページの都合で索引は略しました。

◇この編集後記も始めてから一年経ちました。いろいろありましたが、過ぎてみると短い一年でした。来年はもう少しまともな雑誌にしていきたいものです。

.....副委員長 佐藤 記.....

地質ニュース編集委員会

委員長：小川克郎  
副委員長：佐藤興平・鈴木尉元  
幹事：磯部一洋・尾上 亨  
委員：三田直樹・岡村行信・三村弘二・笹田政克・小玉喜三郎・武居由之・山口 靖・浦辺徹郎  
事務局：総務部業務課広報係

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所  
地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520  
Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

1990年12月号

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙（25×18字）4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ（スライド）を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ（表紙は六切）のものに限りです。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース	第436号 1990年12月号
	定価 ¥ 700 千 実費
1990年12月1日 発行	
編集	工業技術院地質調査所
発行人	林 久 雄
発行所	株式会社 実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒102
	Tel. (03)265-0951 (代表)
	振替口座 東京1-32466
	麹町局私書箱第21号
総発売元	株式会社 実業公報社

©1990 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の震が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。